

## 支 部 だ よ り

平成 30 年度東京支部研修会  
「『口腔機能低下症』について  
理解を深めよう」開催報告

東京支部 水口俊介  
平成30年度東京支部研修会「『口腔機能低下症』について理解を深めよう」が、2018年7月16日(海の日)に東京医科歯科大学歯学部特別講堂にて開催されました。「口腔機能低下症」が保険収載されましたので、その啓発のためと正しく算定していただきたいということで開催いたしました。口腔機能低下症だけでなく、「歯援診」の申請が可能のように、認知症や歯科治療時における緊急時の対応についても内容に含めました。東京医科歯科大学歯科同窓会の後援を受けプロパガンダに協力していただきました。当日は約90名の参加があり、非会員の方も多くいらっしゃいました。今後も口腔機能低下症の啓発に努めてまいります。



講師の先生方(左から上田貴之先生、筆者、古屋純一先生、久保田一政先生)

愛知支部共催セミナー  
「東海オーラルマネジメント研究会」  
開催報告

愛知支部 大野友久  
2018年7月22日(日)に第5回東海オーラルマネジメント研究会が開催されました(参加者236名)。「認知症の人へのオーラルマネジメント」をテーマとし、国立精神・神経医療研究センターの山本敏之先生、ナースホーム気の里の田中靖代先生、高知学園短期大学の坂本まゆみ先生にご講演いただきました。現場の関心が強いテーマということもあり盛会となり、豊富な臨床経験を基にされたご講演内容は参加者から非常に好評でした。



ウインクあいちにて行われた講演の様子

鹿児島支部共催セミナー「第2回九州  
老年歯科フォーラム in 鹿児島」報告

鹿児島支部 西 恭宏  
鹿児島支部は、2018年7月29日(日)に鹿児島県歯科医師会、全国在宅療養支援歯科診療所連絡会との共催で「第2回九州老年歯科フォーラム in 鹿児島」を鹿児島県歯科医師会館にて開催しました(参加者132名)。川越正平先生(あおぞら診療所)から基調講演「地域包括ケア時代におけるかかりつけ歯科医師への期待」、原 龍馬先生(原歯科医院)から教育講演「かかりつけ歯科医と訪問診療」、4名の各職種によるシンポジウム「多職種で行う食支援と口腔管理」があり、訪問歯科診療と医科との連携の重要性が再認識されました。第3回は来年、長崎で行われます。



鹿児島県歯科医師会館での講演の様子

京都支部主催公開研修セミナー  
「健康長寿に貢献する歯科の目指すもの」  
開催報告

京都支部 林 甫  
西日本豪雨のため、開催直前に延期が決定となり、約2ヵ月後の2018年9月1日に京都学会会の共催、京都府歯科医師会の後援にて130名の参加を得て開催されました。

櫻井 薫先生からは、「口腔機能低下症への対応」として、形態的回復が中心であった歯科治療のあり方を問われ、機能の管理(維持・回復)が重要であることの詳しいお話があり、梶安秀樹先生からは「ライフステージを考慮し、チームで支える」の演題で、地域包括ケアでの歯科診療所の立ち位置、多職種連携、人生ステージでのアプローチなど、今後は人の尊厳を最期まで大切にしたい看取りを含めた在宅医療も、歯科として考えていかなければいけないという内容で、生活・命を支えるための医療・ケアを念頭に置いた在宅医療体制を進めていかなければならないとのお話がありました。お2人の熱意のこもったお話をいただきました。



多職種の方々に聴講いただきました